

ペルーアマゾンにおける気候変動緩和のための森林湿地生態系の自然資源管理能力強化プロジェクト

プロジェクト・ニュース（2023 年 1 月）

タイトル：自然資源管理強化に関する活動

プロジェクト一般概要：<https://www.jica.go.jp/project/peru/008/outline/index.html>

本プロジェクトが注目するペルーアマゾン熱帯林の湿地林は、大量かつ多様な動植物に生息域を提供し、水の貯蔵や循環に非常に重要な役割を果たし、地下には大量の炭素を貯蔵する泥炭も有します。更には、水資源はもちろん、アグアヘ、ウングラホイ、フィクンゴ、ファサイ、カムカムといった産品は地域住民の生計も支えています。

近年、世界的に森林破壊の圧力が高まっており、この抑制が地球規模の課題となっています。破壊の原因は、違法伐採や採掘、これを誘発する違法な土地取引、無秩序な農地転換や道路などインフラ建設、無計画な産品利用など様々です。この状況はペルーアマゾン熱帯林も例外ではなく、これが放置されれば、生態系はもちろん地域住民の生計の維持が困難となります。

本プロジェクトには、自然資源管理に関わる州、その他地方関係者の能力強化活動が含まれています。現在、自然資源管理に関する能力強化ニーズを明らかにするため、湿地林が集中するロレット、サンマルティン、ウカヤリ州を対象に、文献調査、インタビュー、ケーススタディ調査を実施中です。最終報告は、近日中に取り纏めますが、森林破壊に対抗するための重要事項として、生産者、加工業者、地域政府など林産品サプライチェーン関係者全体の能力向上を通じた、持続的森林資源利用の促進、また、湿地林そのものの価値向上の必要とする意見が多いです。



農地に転換されたアマゾン熱帯林



アマゾン熱帯林の主要林産品
「アグアヘ」の収穫



アマゾン熱帯林の主要林産品「アグアヘ」を原料とした製品（生鮮果実、アイスクリーム、ジャム、油）